

平成29年8月25(金)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧箇所（仙台管内の7箇所）における環境配慮について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

### 現地検討会の様子



蒲生干潟（仙台市）



北貞山運河（仙台市）



閑上漁港海岸（仙台市）



赤井江遊水地（岩沼市）



荒浜漁港海岸（亶理町）



大畑浜（亶理町）

### アドバイザーからの主な意見

- 動植物の移植作業を行う場合は、移植先を分散すること。
- 海岸堤防の工事完了箇所の海側は自然に砂が溜まり、海浜植物等が生息できる良い環境となってきたため、テトラポット等の設置は配慮していただきたい。
- 仮設道路等を設置した箇所には、海浜植生が広がってきているため、復旧作業は行わず、保全することが望ましい。
- 既存堤防を残せるのであれば、できる限り残していただきたい。
- 干潟等の水交換が悪い箇所は、対策を講じていただきたい。



蛭塚（亶理町）

※アドバイザーより、いただいた意見（指導・助言）を踏まえ引き続き環境に配慮した施工を実施していきます。